

BOSE[®]

Wave[®] SoundTouch[™] 
music system series IV



オーナーズガイド

安全上の留意項目

このオーナーズガイドに記載された内容をよくお読みください。また、必要なときにすぐご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめいたします。



正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。



正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、このオーナーズガイドの中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることをお客様に注意喚起するものです。

警告:

- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。他の電気製品と同様、システム内に液体が侵入しないように注意してください。液体が侵入すると、故障や火災の原因となることがあります。
- 電池はお子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込まないでください。化学薬品によるやけどを負う恐れがあります。この製品に付属のリモコンにはボタン電池が使用されています。ボタン電池を飲み込むと、体内で2時間以内に深刻なやけどを負って生命を脅かす恐れがあります。バッテリーカバーがきちんと閉まらない場合は、リモコンの使用をやめてお子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んだり、身体の中に入ってしまったと思ったら、すぐに医師の診断を受けてください。リモコンの電池を誤って取り扱ったり、誤って交換した場合、破裂や火災、化学物質で皮膚が侵される危険性があります。また、分解や充電、焼却を行ったり100°C以上の熱を与えないようにしてください。3Vリチウムボタン電池のCR2032またはDL2032に交換してください。使用済みの電池は速やかに処分してください。
- 火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- 極性プラグを使用する場合、感電を避けるため、電源コードをコンセントにつなぐ際には、プラグの幅が広い方の刃をコンセントの幅が広い方のスロットに差し込んでください。プラグは根元まで完全に差し込んでください。
- Wave® SoundTouch™ music system (システムとSoundTouch™ pedestalの組み合わせ、またはSoundTouch™ pedestalのみ)を、ボーズ製キャビネット/壁用ブラケットを使用して取り付けることはできません。



この製品には磁性材料が含まれています。埋め込み型医療機器の動作に影響があるかどうかについては、医師にご相談ください。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。



This symbol means the product must not be discarded as household waste, and should be delivered to an appropriate collection facility for recycling. Proper disposal and recycling helps protect natural resources, human health and the environment. For more information on disposal and recycling of this product, contact your local municipality, disposal service, or the shop where you bought this product.

注意:

- システムまたはアクセサリを改造しないでください。許可なく製品を改造すると、安全性、法令の遵守、およびシステムパフォーマンスを損なう原因となる場合があります。
- 大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に長時間にわたるヘッドホンのご使用の際は、大きな音量はお避けください。
- 本書で指定されている以外の方法で製品を操作したり、設定または調整を行うと、製品の内部から危険なレーザーが放出される恐れがあります。CDプレーヤーの調整または修理は、必ず資格を持つサービス担当者にお任せください。

注記:

- 製品ラベルは本体底面にあります。
- この製品は、屋内専用機器です。屋外、RV車内、船上などで使用するようには設計されていません。また、そのような使用環境におけるテストも行われていません。
- 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。

クラス1レーザー製品

このCDプレーヤーは、EN/IEC 60825に基づき、クラス1レーザー製品に分類されています。クラス1レーザー製品のラベルは本体底面にあります。



1. 本書をよくお読みください。
2. 必要なときにご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意と警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用し、ボーズ社の指示に従って行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。ボーズ社の指示に従って設置してください。
8. ラジエータ、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発生する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
10. 必ずメーカーにより指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
11. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
12. 修理が必要な際には、カスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、例えば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への落下、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, this is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, you are encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a different circuit than the one to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by Bose Corporation could void the user's authority to operate this equipment.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For the SoundTouch™ pedestal: This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 8 in. (20 cm) between this device and your body.

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

This device complies with FCC and Industry Canada RF radiation exposure limits set forth for general population. It must not be co-located or be operating in conjunction with any other antennas or transmitters.

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

製品データ記録機能

このシステムには、ボーズ社が製品の使用状況とパフォーマンスを継続的に確認するために設計した、製品データ記録機能が搭載されています。製品データ記録機能では、音量レベル、電源オン/オフ、ユーザー設定、入力機器、電圧出力、セットアップデータ、およびその他の技術データや使用履歴が記録されます。これらのデータは、お使いのシステムに対してより良いサービスとサポートを提供するとともに、今後の製品設計を向上する目的で使用します。製品データ記録機能で保存されるデータを解読するには特殊な装置が必要であり、お客様がシステムのサービスをボーズ社に依頼するか、製品を返品された場合にも、ボーズ社でこれらのデータを回収することができます。製品データ記録装置では、お客様を特定できる個人情報や、システムを使用してお楽しみいただいたメディアの内容(タイトル、ジャンルなど)に関する情報は、一切記録されません。

規制に関する情報

製品情報の控え

控えとして、Wave® SoundTouch™ music systemのシリアル番号を下の欄にご記入ください。シリアル番号とモデル番号は、製品の底面に記載されています。

シリアル番号: _____

モデル番号: _____

購入日: _____

このガイドとともに、ご購入時の領収証と保証書を保管することをおすすめします。

製造日シリアル番号の太字で表記されている4桁の数字は製造日を示しています。1桁目の数字は製造年を表します。「5」は2005年または2015年です。2桁目から4桁目の数字は通し番号で月日を表します。「001」は1月1日、「365」は12月31日です。

中国における輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plan 9, No. 353 North Riyang Road, China (Shanghai) Pilot Free Trade Zone

EUにおける輸入元: Bose GP, Castleblayney Road, Carrickmacross, Ireland

台湾における輸入元: Bose Taiwan Branch, Room 905, 9F, Worldwide House, 131 Min Sheng East Rd, Section 3, Taipei, Taiwan, 105

App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

Amazon、Kindle、およびFireはAmazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

AndroidおよびGoogle PlayはGoogle Inc.の商標です。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標で、Bose はこれらの商標を使用する許可を受けています。



iHeartRadioはiHeartMedia, Inc.の登録商標です。

この製品はMicrosoftの特定の知的財産権によって保護されています。Microsoftから使用許諾を受けずに、保護対象の技術をこの製品以外で使用または配布することは禁じられています。

この製品にはSpotifyソフトウェアが組み込まれており、次のサイトに掲載されたサードパーティのライセンスが適用されます。 www.spotify.com/connect/third-party-licenses

SpotifyはSpotify ABの登録商標です。

SoundTouchおよび音符と無線電波を組み合わせたデザインは、米国および他の国々におけるBose Corporationの商標です。

Wi-FiはWi-Fi Alliance®の登録商標です。

Windowsは、アメリカ合衆国および他の国々におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

Wave music systemのデザインは、米国および他の国々で登録されたBose Corporationの登録商標です。

© 2015 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

SoundTouch™	
Wave® SoundTouch™ music systemについて	6
システムの特長	6
ハードウェアの機能	6
SoundTouch™ app	6
デモ用CD	6
永年の研究から生まれた高音質	6
システムのセットアップ	
内容物の確認	7
システムを設置する	7
システムをpedestalに接続する	7
システムを電源に接続する	8
システムをWi-Fi®ネットワークに追加する	8
SoundTouch™ appをダウンロードしてインストールする	8
システムをWi-Fi®ネットワークに接続する	8
現在時刻を設定する	8
システムの使用	
リモコンによる操作	9
タッチセンサー	10
ディスプレイの表示	10
システムの電源をオン/オフする	10
スタンバイモード	10
音量を調節する	10
スリープタイマーを設定する	10
 ボタンの操作	11
<small>§ aux</small> SoundTouch™	11
Bluetooth®ワイヤレステクノロジー	11
AUXソース	11
アプリを使用したシステムの操作	
SoundTouch™ appを使用する	11
困ったときは	11
別のスマートフォン、タブレット、コンピューターなどからシステムを操作する	11
プリセットのカスタマイズ	
プリセットの機能	12
必要な知識	12
プリセットを再生する	12
プリセットを設定する	12
Bluetooth®	
Bluetooth対応機器をペアリングする	13
ペアリングしたBluetooth®対応機器に接続する	13
 ボタンの操作	13
<small>§ aux</small> ペアリング済み機器のBluetooth®機能を使用する	13
システムのBluetooth®ペアリングリストを消去する	13
他のソースの再生	
FM/AMラジオを聴く	14
FM/AMラジオの放送局を選ぶ	14
FM/AMラジオ放送局をプリセットに登録する	14
FMラジオの受信状態を向上する	14
オーディオCDの再生	15
MP3 CDの再生	15
CD再生モード	16
アラームの設定と使用	
アラームボタンとアラーム表示	16
Alarms ボタンの使い方	16
アラーム表示	16
アラームを使用する	17
アラームのオン/オフを切り替える	17
アラームのスヌーズを使う	17
外部機器の接続	
システムの接続	18
AUX IN端子を使用する	19
ヘッドホンを使用する	20
外部アンテナを使用する	20
システムの設定	
セットアップメニュー	21
高度な機能	
Wi-Fi®機能を無効にする	22
Wi-Fi機能を再度有効にする	22
SoundTouch™ pedestalを再起動する	22
SoundTouch™ pedestalの設定をリセットする	22
お手入れについて	
故障かな?と思ったら	23
リモコンの電池を交換する	24
お手入れについて	24
お問い合わせ先	24
保証	24
仕様	24
付録: コンピューターを使用したシステムのセットアップ	
セットアップに関する重要な情報	25
デスクトップコンピューターを使用してセットアップする	25
コンピューターでシステムをセットアップする	25

Wave® SoundTouch™ music systemについて

Wave® SoundTouch™ music systemは、ホームWi-Fi®ネットワークを通じて、お部屋を満たすクリアなサウンドで音楽をお楽しみいただけるスピーカーシステムです。SoundTouch™を使用すると、インターネットラジオ、音楽サービス、コンピューターの音楽ライブラリなどをストリーミング配信できます。

Wi-Fiを使用している場合は、お気に入りの音楽を家の中のどの場所でもすぐに再生できます。

システムの特長

- コンパクトなボディで臨場感あふれる感動の高音質をお楽しみいただけます。
- お気に入りの音楽を自由にプリセットして、簡単にストリーミング再生できます。
- スマートフォンやタブレットからワイヤレスをセットアップできます。
- 自宅のWi-Fiネットワークにすぐに接続できます。
- Bluetooth®対応機器から音楽をストリーミング再生できます。
- 無料のSoundTouch™ appをコンピューターやスマートフォン、タブレットにインストールできます。
- 接続機器をいつでも簡単に追加して、自宅のどの部屋でも再生できます。
- さまざまな種類のBose®オーディオシステムに対応しているので、再生環境に合わせた機器を選択できます。

ハードウェアの機能

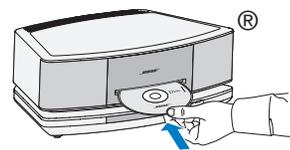
- リモコンの6つのプリセットボタンで、音楽をワンタッチでコントロールできます。
- ディスプレイが搭載されています。
- SoundTouch pedestalを使用してネットワークにWi-Fiで接続できます。
- AUX端子が搭載され、外部機器を接続して再生できます。
- 音楽をヘッドホンで楽しむためのヘッドホン端子を搭載しています。
- 高性能のAM/FMチューナーでラジオをお楽しみいただけます。
- 好きなCDでいつでも音楽を楽しめるよう、CDドライブを搭載しています。
- 付属のリモコンで、約6 m離れた場所からシステムを操作できます。
- リモコンの[Thumbs up]ボタンと[Thumbs down]ボタンで音楽に評価レートを付けることができます（日本ではこの機能は使用しません）。
- Ethernet端子を使用すれば、有線でもネットワークに接続できます。

SoundTouch™ app

- スマートフォン、タブレット、コンピューターなどからシステムをセットアップして操作できます。
- SoundTouch™ appを使用して、お気に入りの音楽を簡単にプリセットに登録できます。
- インターネットラジオ、音楽サービス、コンピューターの音楽ライブラリを利用できます。
- システム設定を管理できます。

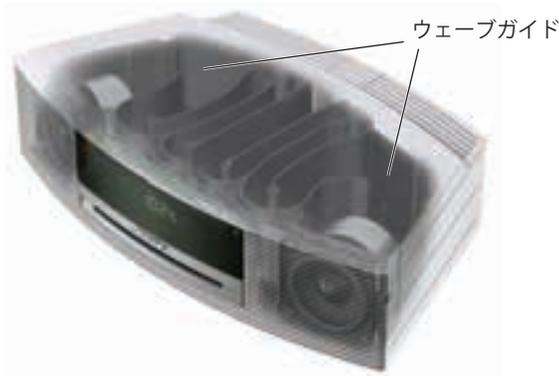
デモ用CD

まず、付属のデモ用CDをお聴きください。デモ用CDをWave® SoundTouch™ music systemの前面スロットに差し込むと、CDが自動的に再生されます。



永年の研究から生まれた高音質

本機には、ボーズ社の14年以上にわたる研究成果が結実した独自技術、「ウェーブガイド・スピーカー・テクノロジー」が搭載されています。これは、本体に内蔵された共鳴管(ウェーブガイド)によって小型スピーカーの空気振動を大きな音響エネルギーに変換し、広がりのある重低音を再現する技術です。どんなインテリアにも調和するコンパクトなデザインを損なわないよう、ウェーブガイドは複雑に折りたたまれ、本体に収められています。Wave® SoundTouch™ music systemに内蔵されている2本のウェーブガイドの長さは合計132 cmにも及び、このサイズで大型スピーカーを凌ぐ重低音を再現します。

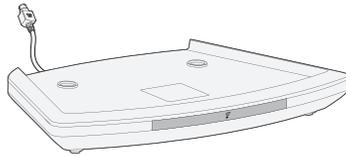


内容物の確認

箱の中身を取り出して、下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



Wave® music system



SoundTouch™ pedestal



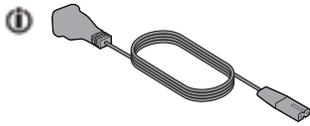
リモコン(電池装着済み - 動作確認用として)



デモ用CD



USB ケーブル
(コンピューターによる
セットアップ専用)



電源コード



T型FMアンテナ

① 電源コードは2つ以上付属する場合があります。日本用の電源コードをお使いください。

注記: 万一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、そのままの状態を保ち、ただちに買い上げになった販売店までご連絡ください。

箱と梱包材は、輸送用として後日使用する場合のために処分せずに保管しておくことをおすすめします。

システムを設置する

- より良い音響効果を得るには:
 - システムの正面で聴くほうが、より良い音響効果が得られます。
 - 壁からおおよそ60cm以内に近付けた場所に設置することをおすすめします。また、部屋の角に設置することは避けてください。
- システムは安定した水平な面に設置します。

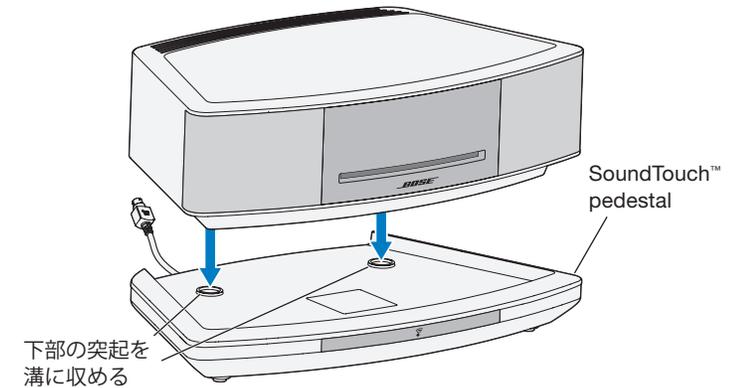
注意:

- 金属面の上に設置しないでください。AMラジオの受信感度が低下することがあります。
- 他の電子機器と同様、内部から多少の熱を発生しますので、熱に弱い物の上や近くに設置しないでください。
- 湿気の多いところや水分のかかりやすいところには設置しないでください。

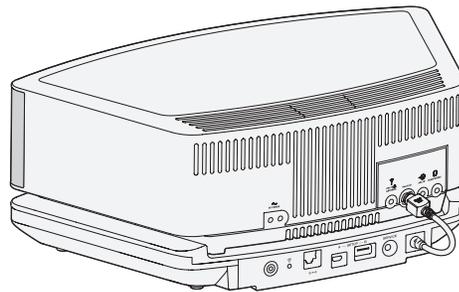
システムをpedestalに接続する

SoundTouch™ pedestalはWave® music systemをネットワークに接続するためのものです。

1. SoundTouch™ pedestalを安定した水平な面に設置します。
2. Wave® music systemを慎重にSoundTouch™ pedestalの上に置きます。
 - Wave® music system下部の突起をSoundTouch™ pedestal上部の溝に収めます。
 - Wave® music systemが水平に設置され、本体とpedestalの左右端がずれていないことを確認してください。



3. SoundTouch™ pedestalのケーブルをBose Link端子に差し込みます。

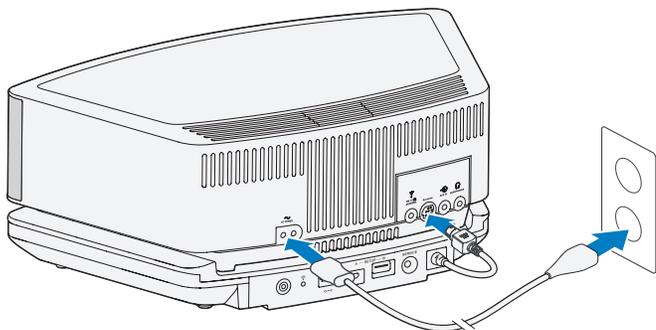


システムのセットアップ

システムを電源に接続する

ネットワーク上でシステムをセットアップする前に、システムを電源に接続します。

1. 電源コードの小さい方のプラグを、**AC Power**端子に差し込みます。
2. 電源アダプターを壁のコンセントに差し込みます。



システムをWi-Fi®ネットワークに追加する

システムを電源に接続したら、ネットワークに接続しているスマートフォンまたはタブレットにSoundTouch™ appをダウンロードしてインストールする必要があります。アプリを起動すると、システムをネットワークに接続する手順が表示されます。

注記: スマートフォンやタブレットがない場合は、コンピュータでセットアップを行います。25ページをご覧ください。

システムを既存のSoundTouch™アカウントに追加するには

別のシステム用にSoundTouch™をセットアップしてある場合は、SoundTouch™ appを再度ダウンロードする必要はありません。

1. スマートフォンやタブレットで、SoundTouch™アイコン  をタップしてアプリを起動します。
2. **[EXPLORE]** > **[設定]** > **[システム]** > **[システムの追加]**の順にタップして、別のシステムを追加します。
セットアップの手順はアプリに表示されます。

SoundTouch™ appをダウンロードしてインストールする

SoundTouch™システムを初めてセットアップする場合は、アプリをインストールする必要があります。スマートフォンやタブレットに**SoundTouch™ controller app**をダウンロードします。



Bose SoundTouch™ controller app

- iOSユーザーの場合: App Storeからダウンロードします。
- Android™ユーザーの場合: Google Play™ストアからダウンロードします。
- Amazon Kindle Fireユーザーの場合: Amazon Androidアプリストアからダウンロードします。

システムをWi-Fi®ネットワークに接続する

アプリをインストールしたら、次の手順でシステムをネットワークに追加します。

1. スマートフォンやタブレットで、 をタップしてアプリを起動します。
アプリを起動すると、システムをWi-Fiネットワークに接続する手順が表示されます。
2. アプリに表示される手順に従い、SoundTouch™アカウントの作成、音楽ライブラリや音楽サービスの追加などのセットアップを完了します。

注記: Bluetooth®機能を使用するには、セットアップを完了する必要があります。Bluetooth対応機器への接続方法については、13ページをご覧ください。

現在時刻を設定する

1. **Time -**ボタンまたは**Time +**ボタンを1秒以上長押しします。



最初にディスプレイに「**HOLD TO SET**」と表示され、すぐに「**- CLOCK SET -**」に変わります。



2. **Time** ボタンを放します。
3. **Time -** ボタンを押すと時計が戻り、**Time +** ボタンを押すと時計が進みます。ボタンを操作して、現在時刻に合わせてください。ボタンを長押しすると時計が速く動きます。
4. ボタンを放して5秒経過すると、最後に表示された時刻に設定されます。

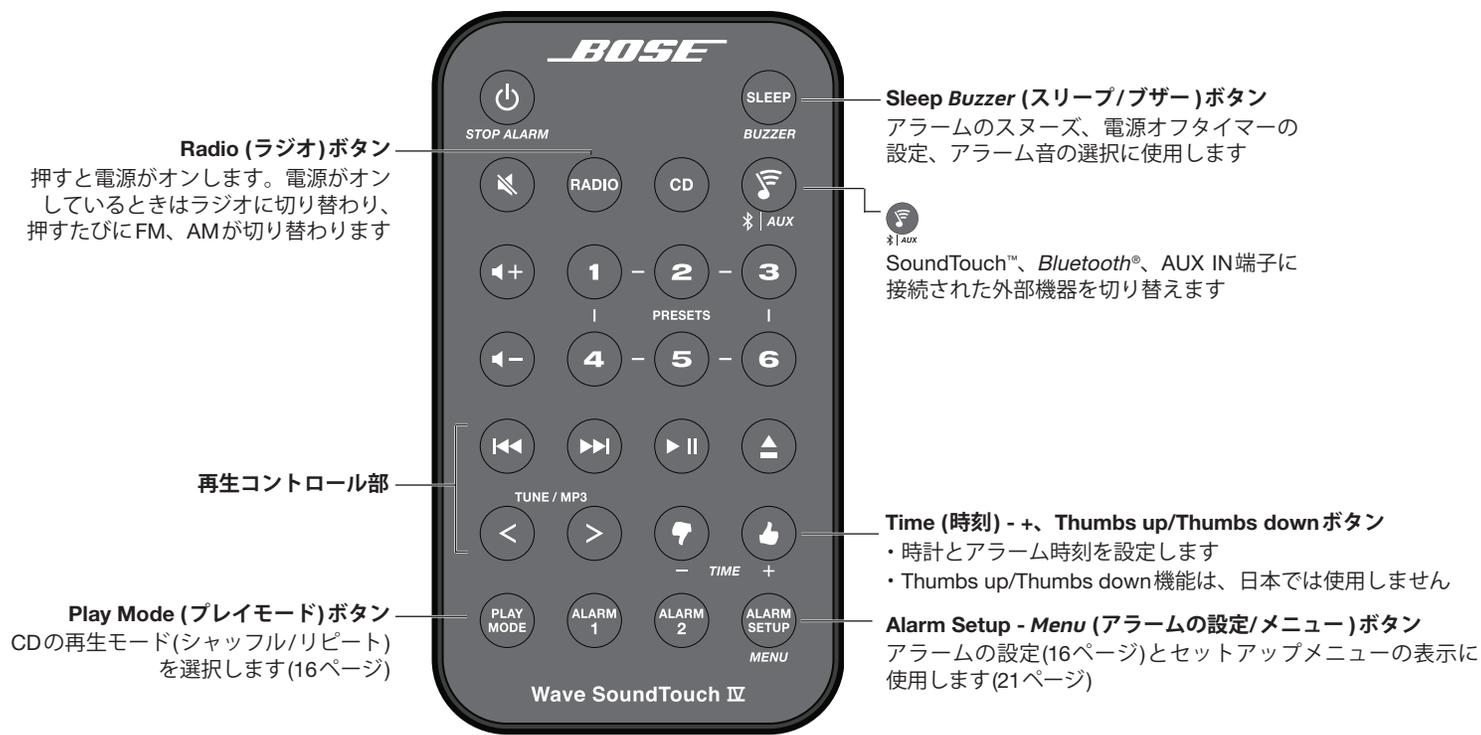
注記:

- 時計の12時間表示(AM/PM表示)と24時間表示を変更する方法は、「セットアップメニュー」(21ページ)をご覧ください。
- 停電や電源ケーブルの取り外しなどでシステムに電源が供給されなくなっても、システムの設定は保存されています。ただし、設定した時刻は48時間経過するとバックアップメモリーから消去されます。

リモコンによる操作

リモコンを使用して、システムを操作できます。リモコンをディスプレイに向け、ボタンを押してください。リモコンの到達距離は、およそ6 mです。

注記: ボタンを長押しする場合は2秒以上押し続けてください。

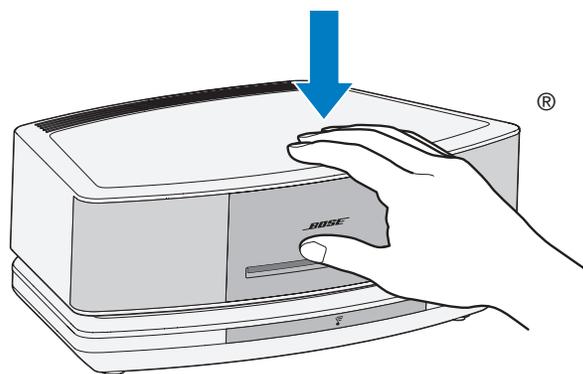


注記: リモコンの **RADIO**、**CD**、または **Bluetooth | AUX** ボタンを押すと、そのソースを選択した状態でシステムの電源がオンになります。

システムの使用

タッチセンサー

システムは、本体の上部手前部分にタッチセンサーを内蔵しています。タッチセンサーに手を触れることにより、システムの電源のオン/オフ、アラーム音のスヌーズ、目覚ましのリセット(16ページ)などの操作が行えます。



ディスプレイの表示

ソース表示: CD、FM、AM、AUX



ソースまたはシステムに関する情報

システムの電源をオン/オフする

- リモコンの  ボタンを押します。
または
- タッチセンサーに手を触れます。



最後に再生していたソースが有効になります。

その他の方法



ソースボタン    のいずれかを押し、選択したソースに切り替わります。

注記: **AUX** ボタンを押しても、AUX IN に接続されている外部機器(メディアプレーヤーなど)の電源はオンになりません。外部機器の電源を先にオンにしてください。

スタンバイモード

ボタン操作を行わずに24時間が経過すると、システムはスタンバイ(オフ)となります。18分スタンバイタイマー(21ページ)がオンの場合、音が再生されずかつボタン操作が行われない期間が18分間続くと、自動的にスタンバイとなります。

システムがネットワークに接続されている場合、スタンバイに切り替わっても接続は保持されます。

音量を調節する

-  音量を調節するには、 ボタンまたは  ボタンを長押しします。
-  「**VOLUME - 0**」(最小レベル)から「**99**」(最大レベル)までの音量がディスプレイに表示されます。
-  このボタンを押すとシステムの音声がミュートされます。
解除するにはボタンをもう一度押すか、 ボタンを押します。

ミュート中に  ボタンを押して、ミュートしたまま音量を下げてもできます。

システムの電源がオフの場合でも、音量を10～75の間で調節しておくことができます。

スリープタイマーを設定する

 **SLEEP** ボタンを押すと、設定した時間が経過した後にシステムが自動的にオフになります。

- SLEEP** ボタンを押して、ディスプレイに「**SLEEP - 30 MIN**」(または設定した時間)の表示が現れると、カウントダウンが始まります。システムが電源オフの状態では **SLEEP** ボタンを押すと、電源がオンになり、スリープタイマーがすぐに有効になります。タイマーのカウントダウンが始まると、最後に選択していたソースが再生されます。
- ディスプレイに「**SLEEP**」が表示されているときに **SLEEP** ボタンをもう一度押すと、スリープタイマーを10～90分の間(10分間隔)で変更したり、タイマーをオフにしたりできます。

注記: スリープタイマーの設定中に10秒間ボタン操作を行わないと、システムは自動的にスリープタイマーのセットアップモードを終了します。

- スリープタイマーの残り時間を確認するには、**SLEEP** ボタンを押します。
- スリープタイマーを解除するには、**SLEEP** ボタンを押して、ディスプレイに「**SLEEP - OFF**」と表示されたら放します。



ボタンの操作

このマルチファンクションボタンを使用すると、システムで音楽を再生できる機器の選択肢が広がります。

- システムのSoundTouch™ソースを操作できます
- Bluetooth®対応機器を接続して音楽をストリーミング再生できます
- AUX IN端子に接続したオーディオ機器を再生できます



ボタンを押すたびに、SoundTouch™ ()、Bluetooth ()、外部機器 (**AUX**) が切り替わります。

SoundTouch™

リモコンを使用して、ソースの再生やプリセットなど、SoundTouch™の機能の一部をシステムで操作できます。インターネットラジオ、音楽サービス、音楽ライブラリなど、SoundTouch™のさまざまな機能の操作方法については、「SoundTouch™ appを使用する」をご覧ください。

Bluetooth®ワイヤレステクノロジー

システムにはBluetoothワイヤレステクノロジーが搭載されており、Bluetooth対応機器の音楽をストリーミング再生でお楽しみいただけます。接続した機器は最大8台までペアリングリストに保存されます。13ページをご覧ください。

AUXソース

AUXソースを選択すると、システムのAUX IN端子に接続したオーディオ機器の音楽を再生できます。機器を接続するには、3.5 mmステレオ音声ケーブル(別売)が必要です。19ページをご覧ください。

SoundTouch™ appを使用する

SoundTouch™ appは、スマートフォンやタブレット、コンピューターなどからSoundTouch™を操作するためのソフトウェアです。このアプリを使用すると、スマートフォンやタブレットなどでSoundTouch™ systemの機能を遠隔操作できます。

SoundTouch™の設定の管理、音楽サービスの追加、世界中のインターネットラジオ局の選局、プリセットの設定と変更、音楽のストリーミング再生、再生中のソース情報の表示などが行えます。

SoundTouch™ appを使用してネットワーク上のシステムをセットアップしたら、ストリーミング音楽の検索やプリセットの変更が行えます。

困ったときは

SoundTouch.com

オーナーサポートセンターにアクセスできます。このサイトには、オーナーズマニュアルや製品に関する記事、ヒント、チュートリアル、ビデオライブラリなどが用意されており、オーナー同士で質問を投稿したり回答したりできるコミュニティがあります。

1. ブラウザーを開きます。
2. アドレス領域に「SoundTouch.com」と入力します。

システムの詳しい使用方法については、ヘルプヒントやアプリのヘルプをご覧ください。

アプリのヘルプ

SoundTouch™の使用に関するヘルプを提供します。

1. お使いの機器で、 を選択してアプリを起動します。
2. [EXPLORE]パネルで、[ヘルプ]を選択します。

別のスマートフォン、タブレット、コンピューターなどからシステムを操作する

SoundTouch™ systemをホームWi-Fi®ネットワークに接続すると、同じネットワーク上の任意のスマートフォン、タブレット、コンピューターなどからシステムを操作できます。

1. デバイスをシステムと同じネットワークに接続します。
2. デバイスにSoundTouch™ appをダウンロードしてインストールします。
 - スマートフォンまたはタブレットを使用する場合は、8ページをご覧ください。
 - コンピューターを使用する場合は、Web ブラウザーを開いて次のアドレスにアクセスします。

SoundTouch.com/app

プリセットのカスタマイズ

プリセットの機能

6つのプリセットには、お気に入りの音楽ストリーミングサービス、インターネットラジオ局、音楽ライブラリのプレイリスト、アーティスト、アルバム、曲などを自由に保存できます。プリセットした音楽は、リモコンを使用していつでも簡単に再生できます。

ヒント: コンピューターやスマートフォン、タブレットなどで、SoundTouch™ appを使用してプリセットを操作することもできます。

必要な知識

- プリセットは、アプリとリモコンのどちらからでも設定できます。
- iTunesやWindows Media Playerの音楽ライブラリをプリセットに保存している場合は、音楽ライブラリを保存しているコンピューターの電源がオンになっていて、システムと同じネットワークに接続されている必要があります。
- Bluetooth®のストリーミングや、AUX IN端子に接続したオーディオ機器をプリセットに設定することはできません。

プリセットを再生する

アプリを使用してプリセットを設定し、リモコンの  ボタンを押します。

ディスプレイに「**SOUNDTOUCH**」と表示され、SoundTouch™ pedestalからストリーミングされるコンテンツを選択できるようになるまで待ち受け状態になります。



注記: システムの電源を初めてオンにしてSoundTouch™を選択したときは、コンテンツが数秒間表示されません。その後は表示されるまでの時間が短くなります。

コンテンツが選択可能になったら、リモコンの6つの**Presets**ボタンのいずれかを押してソースを選択します。ボタンを押さない場合、最後に選択していたSoundTouch™ソースが再生されます。

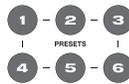


トラックを前後に送るには、**Seek/Track**ボタンの早送り  または巻き戻し  を押します。



注記: 一部のインターネット音楽サービスは早送り/巻き戻しのコマンドに対応していません。

プリセットを設定する

1. アプリを使用してシステムで音楽をストリーミング再生します。
2. 音楽を再生しているときに、リモコンのプリセットボタンを2秒間長押しします。プリセットが設定されると、システムからビープ音が聞こえます。 

注記: SoundTouch™ appを使用してプリセットの設定と変更を行う方法については、アプリのヘルプを参照してください。

Bluetooth対応機器をペアリングする

Bluetooth®ワイヤレステクノロジーにより、Bluetooth対応のスマートフォン、タブレット、コンピューター、その他のオーディオ機器の音楽をSoundTouch™システムでストリーミング再生できます。Bluetooth対応機器であれば、ゲストのスマートフォンやタブレットなど、SoundTouch™に登録していない機器の音楽でもストリーミング再生できます。

Bluetooth対応機器から音楽をストリーミング再生するには、機器とシステムをペアリングする必要があります。

1. リモコンの  **AUX** ボタンを押して、ディスプレイにBluetoothのペアリングに関するメッセージが表示されたら放します。



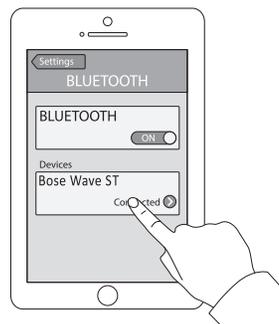
注記:  **AUX** ボタンを押すたびに、SoundTouch™ ()、Bluetooth ()、外部機器 (**AUX**) が切り替わります。

ヒント:  **AUX** ボタンを1秒間長押しすると、機器のペアリングを行うことができます。

ペアリングを行う前に、ディスプレイにBluetoothメッセージが表示されていることを確認してください。

2. Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにします。

ヒント: 通常、Bluetooth機能は設定メニューにあります。設定メニューは、ほとんどの機器でホーム画面に歯車のアイコン () で表示されています。



3. 機器リストから「Bose Wave ST」を選択します。
ペアリングすると、機器リストのBose Wave STの名前が接続済みと表示され、システムからビープ音が聞こえます。
4. Bluetooth対応機器の音楽をシステムでストリーミング再生します。

機器をペアリングできない場合

システムのBluetoothペアリングリストの消去が必要となる場合があります(「システムのBluetoothペアリングリストを消去する」を参照)。リストを消去してから、もう一度ペアリングしてみてください(「Bluetooth対応機器をペアリングする」を参照)。

詳しくは、「故障かな?と思ったら」(23ページ)をご覧ください。

ペアリングしたBluetooth®対応機器に接続する

Bluetooth®対応機器の音楽をシステムでストリーミング再生できます。システムのペアリングリストに複数の機器が保存されている場合、ペアリング済みの機器を接続するまでに1、2分かかることがあります。接続状態はシステムのディスプレイに表示されます。

AUX ボタンの操作

1. リモコンの  **AUX** ボタンを押して、ディスプレイにBluetoothの接続に関するメッセージが表示されたら放します。

システムは、最後にストリーミング再生していた機器に接続されます。

2. 接続した機器で音楽を再生します。

ヒント: ペアリング済み機器を接続したら、 **AUX** ボタンを押す必要はありません。

ペアリングした機器の音楽をストリーミング再生できない場合

SoundTouch™システムと機器の接続が解除されている場合があります。システムのディスプレイを確認してください。ペアリング済み機器がシステムの通信範囲外にある場合は、通信範囲内まで機器を移動します。

ペアリング済み機器のBluetooth®機能を使用する

1. Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにします。
2. 機器リストから「Bose Wave ST」を選択します。
3. 接続したら、Bluetooth対応機器の音楽をシステムでストリーミング再生します。

システムのBluetooth®ペアリングリストを消去する

Bluetooth対応機器とシステムをペアリングすると、接続情報がシステムのペアリングリストに保存されます。機器に接続できない場合、ペアリングリストの消去が必要となる場合があります。リストを消去したら、ペアリングしていた機器を再度ペアリングする必要があります。

ボタンパッドまたはリモコンの  **AUX** ボタンを10秒間長押しします。



ディスプレイに、「Pairing list cleared」というメッセージが表示されます。

システムが機器をペアリング可能な状態になります。

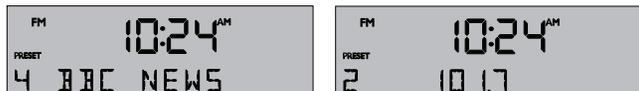
他のソースの再生

FM/AMラジオを聴く



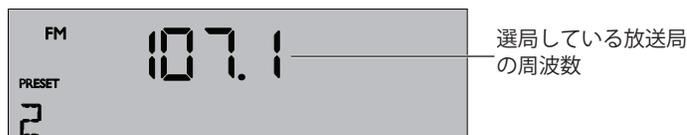
RADIO ボタンを押すとラジオの電源がオンになり、最後に選択されていた放送局を受信します。**RADIO** ボタンを押すたびに、FMとAMが切り替わります。

FMラジオを選択すると、現在の放送局の周波数がディスプレイ上に表示されます。情報の表示は、セットアップメニューのRADIO TEXT設定でオン/オフできます。RDS情報のオン/オフ設定は、日本では使用しません。「セットアップメニュー」(21ページ)をご覧ください。



FM/AMラジオの放送局を選ぶ

RADIO ボタン、Seek/Track ボタン、または **Tune/MP3** ボタンを押すと、ラジオの放送局が選択され、選択した放送局の周波数がディスプレイの中央に表示されます。



選局している放送局の周波数



- Seek/Track ◀▶ ボタンを押すと、低い周波数側で十分受信できる電波の強さを持つ放送局を自動的に探します。
- ラジオの高い周波数側をスキャンし、受信可能な隣の放送局を自動的に選局するには、Seek/Track ▶▶ ボタンを押します。



- 低い周波数側の放送局を手動で選局するには、**Tune/MP3** < ボタンを押します。
- 高い周波数側の放送局を手動で選局するには、**Tune/MP3** > ボタンを押します。
- 低い周波数側にすばやく移動するには、**Tune/MP3** < ボタンを長押しします。
- 高い周波数側にすばやく移動するには、**Tune/MP3** > ボタンを長押しします。

注記: AMラジオの受信状態が良くない場合は、Wave® 本体の向きを左右に回すと、改善されることがあります。FMラジオの受信状態が良くない場合は、電源コードがまっすぐになっているかどうかを確認してください。FMラジオの受信状態を改善するには、外部FMアンテナを接続する方法があります。「外部機器の接続」(20ページ)をご覧ください。

FM/AMラジオ放送局をプリセットに登録する

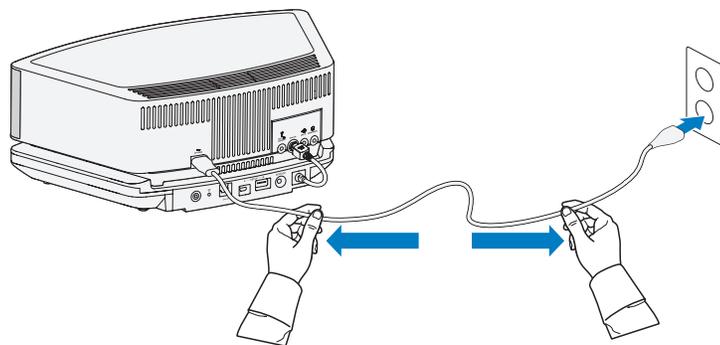
FMラジオとAMラジオの放送局をそれぞれ6つまで登録し、**Presets** ボタンですばやく呼び出すことができます。同じボタンに別の放送局を登録すると、以前登録した放送局に上書きされます。



- プリセットに登録する放送局を選局します。
- 6つのPresetsボタンのいずれかを、ピープ音が2回聞こえ、プリセット番号と放送局の周波数がディスプレイに表示されるまで長押しします。
- Presetsボタンのいずれかを押し、登録されたFM/AMラジオの放送局がすばやく選局されます。

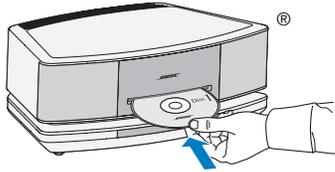
FMラジオの受信状態を向上する

FMラジオを最適な状態で受信するため、電源コードをほどこき、まっすぐに伸ばしてご使用ください。システムは、電源コードをFMアンテナとして使用します。



オーディオCDの再生

レーベル面を上にして、ディスプレイの下のスロットにディスクを差し込みます。ディスクがスロットに引き込まれ、再生が始まります。



ソースが選択されていない場合は、**CD** ボタンを押します。

オーディオCDの再生中は、CDソースの情報が表示されます。



- **Play/Pause** ボタンを押すと、再生中のCDが一時停止します。一時停止中は、経過時間表示が点滅します。**Play/Pause** ボタンをもう一度押すと、再生を再開します。



- **Fast Forward** ボタンを押すと、再生中のトラックの先頭へスキップします。**Fast Forward** ボタンをもう一度押すと、前のトラックの先頭へスキップします。
- **Fast Reverse** ボタンを押すと、次のトラックへ移動します。



- **Tune/MP3 <** ボタンを長押しすると、再生中のトラックを巻き戻しサーチします。**Tune/MP3 >** ボタンを長押しすると、再生中のトラックを早送りサーチします。



- **Stop/Eject** ボタンを押すとCDを停止します。**Stop/Eject** ボタンをもう一度押すとCDが取り出されます。CDの再生中に**Stop/Eject** ボタンを長押しすると、CDが停止してからディスクが取り出されます。

注記:

- 再生を停止したCDをもう一度再生すると、停止した箇所から再生が再開されます。
- 取り出したCDを10秒以内にスロットから取り除かないと、そのCDはプレーヤーに引き込まれて、もう一度読み込みが行われます。

注意: 8 cm CDや円形でないCDをプレーヤーに差し込まないでください。このようなCDは正しく再生されないだけでなく、取り出せなくなる場合があります。

MP3 CDの再生

システムは、CD-RやCD-RWに保存されたMP3ファイルも再生できます。

リモコンの**Tune/MP3** ボタンと**Seek/Track** ボタンを使用して、ファイルを探ることができます。



- **Tune/MP3 <** ボタンを押すと、前のフォルダーに移動します。

- **Tune/MP3 >** ボタンを押すと、次のフォルダーに移動します。



- **Fast Forward** ボタンを押すと、再生中のトラックの先頭に移動します。

- **Fast Forward** ボタンをもう一度押すと、前のトラックの先頭へスキップします。

- **Fast Reverse** ボタンを押すと、次のトラックへ移動します。

MP3 CDを操作している間、フォルダー番号とトラック番号が表示されます。



注記: ルートフォルダーのフォルダー番号は00と表示されます。

トラックを再生すると、アーティスト名、曲名、再生経過時間がディスプレイに表示されます(日本語非対応)。



注記:

- CDに保存されている音楽ファイルにアーティスト名と曲名が付けれられていれば、システムでそれらの情報が表示されます(日本語非対応)。
- MP3 CDの音質は、圧縮時のビットレート、サンプリングレート、使用したエンコーダーの種類によって変わります。システムは、圧縮時のビットレートが64kbps以上、またサンプリングレートが32kHz以上のMP3 CDに対応していますが、ビットレートは128kbps以上、サンプリングレートは44.1kHz以上のディスクを使用することをおすすめします。
- CD-RやCD-RWに記録された音楽ファイルの音質は、ディスクに保存したときの記録方法と使用したソフトウェアによって変わります。不適切な記録状態のCDを再生すると、システムが正常に動作しない場合があります。

アラームの設定と使用

CD再生モード



CDを再生中に、再生方法を変更することができます。**Play Mode** ボタンを何回か押し、次の再生モードを表示して選択します。

モード	CDボタン	MP3	説明
NORMAL PLAY	✓	✓	すべてのトラックを順番に1回だけ再生します。
SHUFFLE DISC	✓	✓	すべてのトラックをシャッフルして1回だけ再生します。
SHUFFLE RPT	✓		すべてのトラックをシャッフルして繰り返し再生します。再生順は毎回変わります。
REPEAT DISC	✓	✓	ディスク内のすべてのトラックを順番に繰り返し再生します。
REPEAT TRACK	✓	✓	再生中のトラックを繰り返し再生します。
SHUFFLE FLDR		✓	選択したフォルダー内のすべてのトラックをシャッフルして1回だけ再生します(MP3のみ)。
SHUF RPT FDR		✓	フォルダー内のすべてのトラックをシャッフルして繰り返し再生します(MP3のみ)。再生順は毎回変わります。
SHUFF RPT CD		✓	ディスク内のすべてのトラックをシャッフルして繰り返し再生します。再生順は毎回変わります。
REPEAT FOLDR		✓	フォルダー内のすべてのトラックを順番に繰り返し再生します(MP3のみ)。

注記: CDをセットするたびに、再生モードはNORMAL PLAYに戻ります。

アラームボタンとアラーム表示

システムでは、**アラーム1**と**アラーム2**に別々のアラームを設定できます。

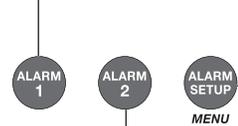
アラームには次の情報を設定できます。

- 時刻
- アラーム音の種類(ブザー音、ラジオ、CD、SoundTouch™)
- 音量

Alarms ボタンの使い方

アラームの設定と操作には、リモコンの一番下にあるAlarmsボタンを使用します。

アラーム1のオン/オフを切り替えます。



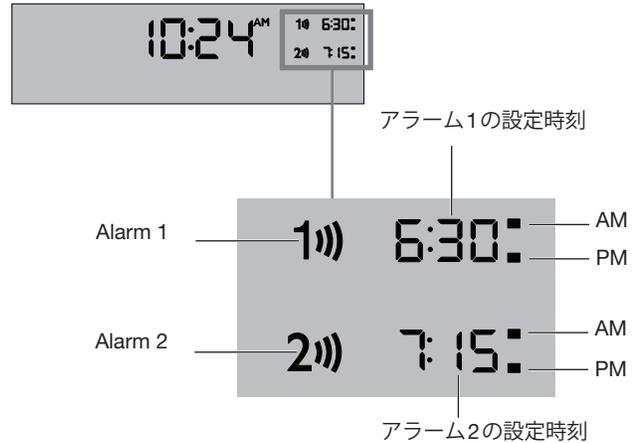
アラーム2のオン/オフを切り替えます。

1. アラーム設定モードに移行し、アラーム1の設定を表示します。
2. もう一度押すと、アラーム2の設定が表示されます。
3. もう一度押すと、アラーム設定モードが終了します。

アラーム表示

アラームがセットされている場合、ディスプレイの右上にアラームの状態が表示されます。

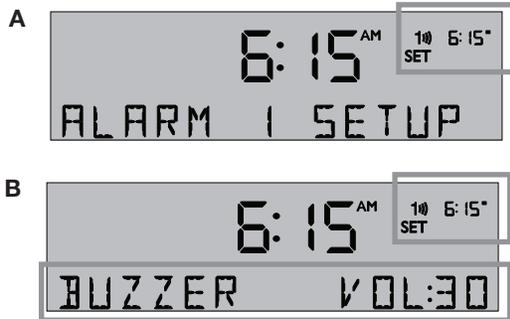
アラーム1とアラーム2の設定例



アラームを設定する

アラームの設定を変更するには、アラーム設定モードを有効にして、ディスプレイにアラームの設定を表示します。

1.  **Alarm Setup** ボタンを押します。
アラーム番号と時刻が点滅し(A)、しばらくすると、アラーム1の現在の設定が表示されます(B)。



2. Time ボタンでアラームの時刻を設定します。
3. アラーム音を選択します。
 - ブザー音を再生する場合は **Buzzer**  ボタンを押します。
 - ラジオを再生する場合は **RADIO** ボタンを押します。
 - CDを再生する場合は **CD** ボタンを押します。
 - SoundTouch™のプリセットを再生する場合は  ボタンを押します。

注記: SoundTouch™を使用する場合、アラーム音として選択できるのはプリセットのみです。
4. **Volume**の上下ボタンを押して、選択したアラーム音の音量を調節します。
5.  ボタンを押すとアラーム2の設定に移行します。手順2～4を繰り返して、アラーム2を設定します。
6. もう一度  ボタンを押すと、アラーム設定モードが終了します。
設定したアラームがオンになり、アラームの時刻がディスプレイに表示されます。



アラームを使用する

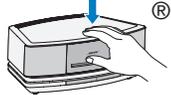
アラームのオン/オフを切り替える

1.  ボタンまたは  ボタンを押すと、それぞれのアラームのオン/オフが切り替わります。

アラームがオンの場合、ディスプレイの右上にアラーム番号と時刻が表示されます。



アラームのスヌーズを使う

- タッチセンサーに手を触れるか   ボタンを押します。

SNOOZEがディスプレイに表示され、あらかじめ設定した時間が経過するとアラーム音がもう一度鳴ります。



出荷時には、スヌーズ時間が10分に設定されています。スヌーズ時間は20分、30分、40分、50分、60分のいずれかに変更できます。「セットアップメニュー」(21ページ)を参照してください。

アラーム音を停止してリセットする

1.  ボタンを押します。

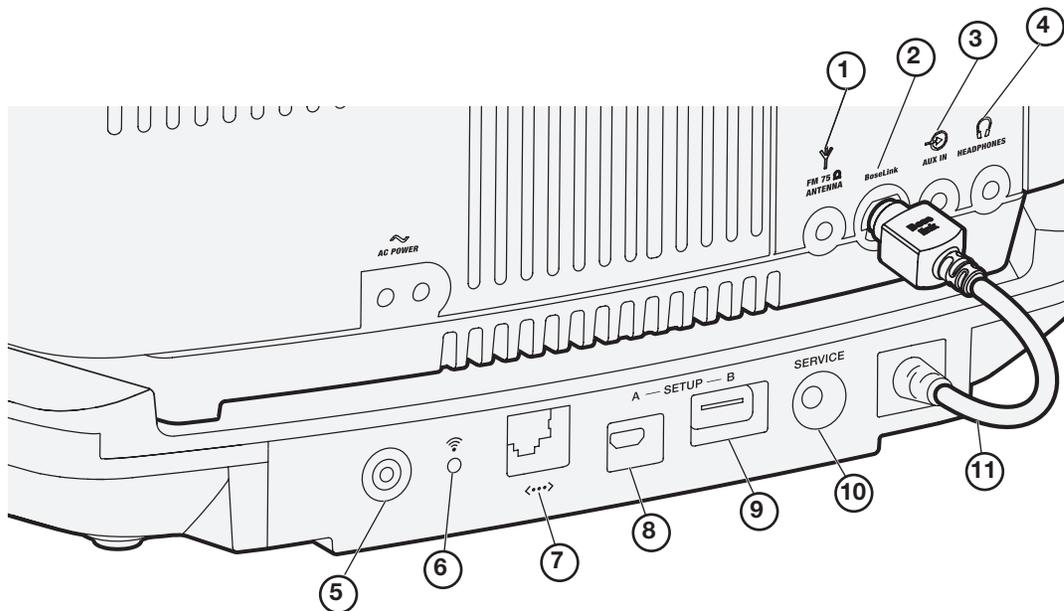
スヌーズを解除する

スヌーズが設定された状態で、もう一度タッチセンサーに触れて2秒以上手を置いたままにするか、 ボタンを押します。

外部機器の接続

システムの接続

リアパネルには、外部機器を接続するための端子があります。



- ① **ANTENNA**
3.5 mm FM アンテナ (75Ω) 端子 (20 ページ)。
- ② **Bose Link**
SoundTouch™ pedestal 用入力端子。
- ③ **AUX IN**
外部機器接続用 3.5 mm ステレオ音声入力端子 (19 ページ)。
- ④ **HEADPHONES**
3.5 mm ステレオヘッドホン端子 (20 ページ)。
- ⑤ **Control ボタン**
Wi-Fi®機能の無効化 (22 ページ)、セットアップモードの開始、SoundTouch™ pedestal の再起動 (22 ページ) などに使用します。
- ⑥ **Wi-Fi®インジケータ**
 - 白の点滅 – Wi-Fi ネットワークに接続中
 - 白の点灯 (暗) – システムオフ、Wi-Fi ネットワークに接続
 - 白の点灯 (明) – システムオン、Wi-Fi ネットワークに接続
 - オレンジの点滅 – Wi-Fi ネットワークから切断
 - オレンジの点灯 – システムセットアップモード
 - オフ – Wi-Fi ネットワーク無効、または Ethernet 経由で接続
- ⑦ **Ethernet 端子**
有線ネットワーク接続に使用します。
- ⑧ **SETUP A**
USB マイクロ B 端子 (コンピューターでネットワークをセットアップするときに使用)。
- ⑨ **SETUP B***
USB 標準 A 端子 (将来の使用のため)。
- ⑩ **SERVICE**
特別なサービス機能のために使用します。サポート担当者専用です。
- ⑪ **SoundTouch™ pedestal Bose Link ケーブル**
Bose Link 端子に接続します。SoundTouch™ pedestal に電源と制御信号を送るためのものです。

*USB 端子はスマートフォンやタブレットなどの充電には使用できません。

AUX IN端子を使用する

システムをテレビ、DVDプレーヤー、コンピューター、ゲーム機などと接続すれば、より豊かで迫力ある高音質でお楽しみいただくことができます。

外部機器をシステムに接続するには、以下のいずれかのケーブルを別途お求めください。



3.5 mmステレオ音声ケーブル

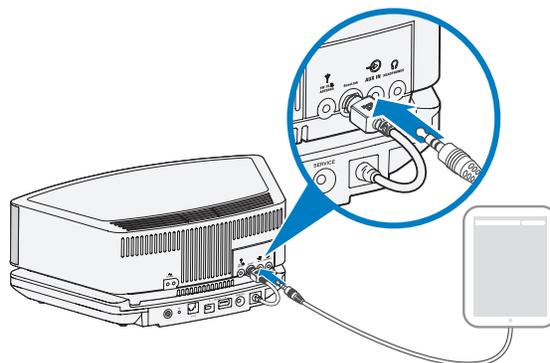


3.5 mmステレオ - ステレオピン変換ケーブル

ケーブルに関するご不明な点は、ボーズ株式会社カスタマーサービスにお問い合わせいただくか、お近くの電気店にお尋ねください。

オーディオ機器をケーブルで接続する

1. ステレオ音声ケーブルを使用して、オーディオ機器をシステムの **AUX IN** 端子に接続します。



2. リモコンの  ボタンを押します。

最後に再生していたソースが有効になります。

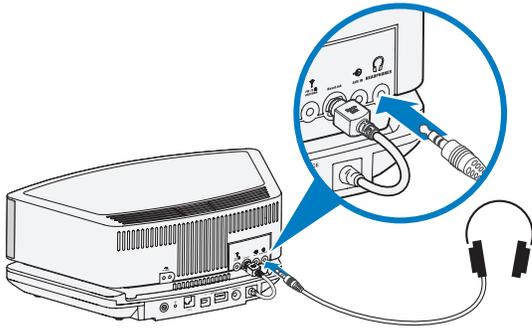
3.  ボタンを押して、ディスプレイに **AUX** が表示されたら放します。
4. オーディオ機器で音楽を再生します。
5. 音量を調節するには、 + ボタンまたは  - ボタンを長押しします。

注記: システムの音量を最大にしても音が小さすぎる場合は、接続した外部機器の音量を上げてください。

外部機器の接続

ヘッドホンを使用する

音楽などをヘッドホンで楽しむには、システムのリアパネルにあるヘッドホン端子にヘッドホンを接続します。



注意: 大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に長時間にわたるヘッドホンのご使用の際は、大きな音量はお避けください。

注記: ヘッドホンを接続すると、スピーカーの音がミュートされ、ヘッドホンを抜くと、スピーカーの音が元に戻ります。ヘッドホンの音量は、スピーカーの音量とは異なります。思わぬ大音量での再生を避けるため、ヘッドホンを接続したり、抜いたりする前に、システムの音量を下げてください。

注記: ヘッドホンを接続していても、アラームの設定時刻になるとシステムのスピーカーからアラーム音が鳴ります。

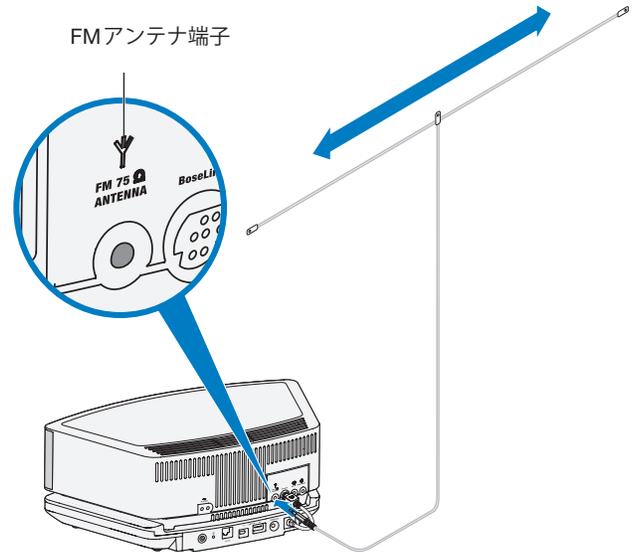
ヘッドホンの音量を調節する

リモコンの **◀+** ボタンまたは **▶-** ボタンを使用して、ヘッドホンの音量を調節します。

外部アンテナを使用する

システムは、電源コードをFMアンテナとして使用します。電源コードの位置を調整しても受信状態が改善されない場合は、外部アンテナを取り付けてください。T型外部FMアンテナのご注文については、カスタマーサービスへお問い合わせください。連絡先については、「お問い合わせ先」(24ページ)をご覧ください。

1. FMアンテナのプラグを**FM ANTENNA**端子に接続します。
2. 良好な状態で受信するには、アンテナを本体や外部機器からできるだけ離れた位置まで伸ばし、アンテナ線の両端をぴんと張って水平にしてください。



注記: 多くのFMラジオ放送局では、水平方向だけではなく垂直方向にも電波を送信しています。アンテナ線を水平方向に張っても受信状態が良くならない場合は、垂直方向に張ってみてください。

セットアップメニュー

セットアップメニューから、システムの操作方法を設定できます。

システム設定	メニュー項目	工場出荷時の設定	選択可能な設定	説明
スヌーズ時間	SNOOZE-	10 MIN	10 MIN、20 MIN、30 MIN、40 MIN、50 MIN、60 MIN	スヌーズ時間(分)を設定します。
Radio Data System (RDS) 情報	RADIO TEXT-	ON	ON、OFF	本機能は日本では使用しません。
連続再生	CONT PLAY-	NO	NO、AUX、FM、AM	CDの再生が終了した後に再生されるソースを選択します。
低音部の音量	BASS-	NORMAL	NORMAL、REDUCED	低音部の補正を行います。
時刻表示形式	TIME-	12 HOUR	12-HOUR、24-HOUR	時刻を12時間表示(AM/PM)または24時間表示に切り替えます。
室内が明るいときのディスプレイの明るさ	BRIGHT HI-	10	8 ~ 15	室内が明るいときのディスプレイの明るさを設定します。
室内が暗いときのディスプレイの明るさ	BRIGHT LO-	4	1 ~ 8	室内が暗いときのディスプレイの明るさを設定します。
ルームコード (SoundTouch™ pedestal使用時は設定できません)	ROOM-	B _ _ _ -	B _ _ _ -, C _ _ _ -, D _ _ _ -, E _ _ _ -, F _ _ _ -, G _ _ _ -, H _ _ _ -, I _ _ _ -, J _ _ _ -, K _ _ _ -, L _ _ _ -, M _ _ _ -, N _ _ _ -, O _ _ _ -	本機能は日本では使用しません。
タッチセンサー	TOUCH PAD-	ON	ON、OFF	タッチセンサーの有効(オン)または無効(オフ)を切り替えます。
18分スタンバイタイマー	AUTO OFF-	YES	YES、NO	18分スタンバイタイマーの有効(YES)または無効(NO)を切り替えます。「システムの電源をオン/オフする」(10ページ)をご覧ください。
工場出荷時の設定に戻す	RESET ALL-	NO	NO、YES	システムを工場出荷時の設定に戻します。

システム設定を変更するには

1.  ボタンを、「**-SETUP MENU-**」が表示されるまで長押しします。
2.  ボタンを何回か押して、変更するメニュー項目を表示します。
3.   ボタンを押して、選択項目を変更します。
4. セットアップメニューを終了するには、 ボタンを押します。10秒間ボタン操作を行わないと、セットアップメニューが終了します。

高度な機能

Wi-Fi®機能を無効にする

Wi-Fi®機能を無効にすると、Bluetooth®機能も無効になります。

1. pedestalのControlボタンを8～10秒間長押しします。
2. Wi-Fiインジケーターが消灯したら、Controlボタンを放します。

Wi-Fi機能を再度有効にする

リモコンでシステムの電源をオンにします。

SoundTouch™ pedestalを再起動する

SoundTouch™ pedestalの背面にあるControlボタンを10秒以上長押ししてから放します。数秒後にpedestalが再度オンになり、再度ネットワークに接続されます。

注記: 再起動しても、SoundTouch™のプリセットや保存したネットワーク接続情報は消去されません。

SoundTouch™ pedestalの設定をリセットする

SoundTouch™ pedestalの設定をリセットすると、SoundTouch™ソース情報とネットワーク接続情報がシステムからすべて消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

注記: リセット操作を行うと、SoundTouch™のプリセットと保存したネットワーク情報は消去されます。FM/AMラジオのプリセットは消去されません。

1. SoundTouch™ pedestalのケーブルがBose Link端子に接続されていることを確認します。
2. システムの電源を抜きます。
3. SoundTouch™ pedestalの背面にあるControlボタンを長押しします。
4. Controlボタンを長押ししたまま、電源を再度接続します。
5. Controlボタンをさらに5秒間長押ししてから放します。システムが再起動します。
6. SoundTouch™ appを起動し、システムをネットワークに追加します(8ページを参照)。

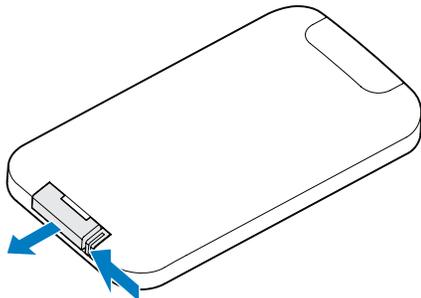
故障かな？と思ったら

トラブル	対処方法
本体が機能しない	<ul style="list-style-type: none"> システムを電源に接続します。 電源コードをコンセントから抜き、10秒間待ってからもう一度差し込みます。この操作により、システムがリセットされます。 システム上部のタッチセンサーに手を触れて、電源をオンにします(10ページ)。
ネットワークのセットアップを完了できない	<ul style="list-style-type: none"> システムを電源に接続します。 SoundTouch™ pedestalをBose Link端子に接続し、システムの電源をオンにします。 正しいネットワーク名を選択して、パスワードを入力します。 機器とSoundTouch™システムを同じWi-Fi®ネットワークに接続します。 システムをルーターの通信範囲内に設置します。 セットアップに使用する機器(携帯端末やコンピューター)のWi-Fi機能を有効にします。 正しいネットワーク名を選択して、パスワードを入力します。 ネットワーク名が表示されない、または非表示に設定されている場合は、[ホームWi-Fiネットワークに接続します]画面で[別のネットワークに手動で接続する]を選択します。 開いている他のアプリケーションを終了します。 セットアップにコンピューターを使用している場合は、ファイアウォールの設定をチェックして、SoundTouch™ appとSoundTouch™ ミュージックサーバーが許可されるプログラムであることを確認します。 SoundTouch.comにアクセスしてインターネット接続をテストします。 携帯端末またはコンピューターとルーターを再起動します。 アプリをアンインストールし、システムを出荷時の設定に戻してから、セットアップをやり直します。
ネットワークに接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークを変更した場合や、システムを別のネットワークに接続する場合は、アプリのヘルプを参照してください。 Ethernetケーブルを使用してネットワークに接続します。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 音量を上げます。 Muteボタン  を押します。 CDを取り出してから再度ロードします。 SoundTouch™を再生する場合は、 ボタンを押します。 SoundTouch™ pedestalがWi-Fiネットワークに接続されていることを確認します。 AUX IN端子に接続されている外部機器を聴く場合は、 ボタンを押します。 外部機器の電源をオンにして、音量を上げます。 システムからヘッドホンを抜きます(ヘッドホンが差し込まれていると、スピーカーの音はミュートされます)。 電子レンジやコードレス電話など、電波の干渉を与える可能性のある機器からシステムを離します。 他のオーディオ/ビデオストリーミングアプリを停止します。 モバイル機器を干渉源や障害物から離して、スピーカーに近付けます。 システムやオーディオ機器を無線ルーターやアクセスポイントに近付けます。
Bluetooth®対応機器の音楽を再生できない	<p>Bluetooth対応機器に接続できない場合: システムでの操作:</p> <ul style="list-style-type: none"> 機器をペアリングします(13ページ)。 アプリでシステムのペアリングリストを消去します。 別の機器をペアリングしてみてください。 <p>モバイル機器での操作:</p> <ul style="list-style-type: none"> Bluetooth機能を無効にしてから、再度有効にします。 Bluetoothメニューからスピーカーを削除します。もう一度ペアリングします。 Bluetooth対応機器の取扱説明書をご参照ください。
音質が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 外部機器を聴いている場合は、適切なステレオ音声ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 低音が響きすぎるか、または弱すぎる場合は、セットアップメニューで低音の音量を調整します(21ページを参照)。
リモコンが正しく機能しないことがある、またはまったく機能しない	<ul style="list-style-type: none"> リモコンをシステムに近付けて操作します。 リモコンの電池が正しい方向(+極が上)で装着されていることを確認します。 リモコンの電池を交換します。 強い室内灯光や太陽光が本体に直射して、リモコン受信の障害になっていないか、またはリモコン先端のレンズにほこりや汚れが付いていないか確認します。 システムを別の場所に設置します。
AMラジオの受信状態が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 本体の向きを変えながら、内蔵AMアンテナの受信状態が良くなる位置を探します。 テレビ、冷蔵庫、ハロゲンランプ、調光器付きスイッチなど、電気ノイズを発生する電気製品からシステムを離してください。 受信状態が改善されない場合、AMラジオの電波が弱いことが考えられます。
FMラジオの受信状態が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードをできるだけまっすぐに伸ばします。電源コードはFMアンテナとして機能します(14ページ)。 「外部機器の接続」(20ページ)をご覧ください。
CDが再生されない	<ul style="list-style-type: none"> ソースが選択されていることを確認し、選択されていない場合は  CDボタンを押します。ディスプレイにCDアイコンが表示されます。 レーベル面を上にしてCDをロードします。 ディスクの表面に汚れがないことを確認します。汚れている場合は、表面に傷を付けないようにそっと拭き取ります。 別のディスクをお試しください。

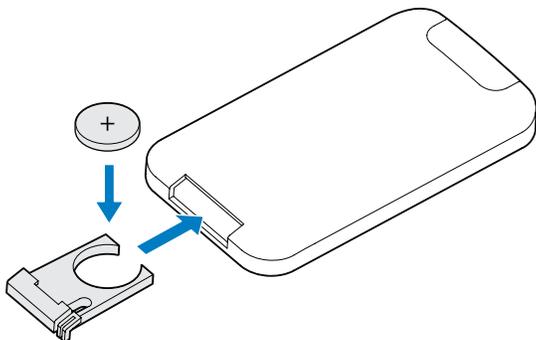
お手入れについて

リモコンの電池を交換する

1. ボタン側を下にしてリモコンを平らな場所に置きます。
2. 電池カバーの留め具を図のように指で押さえます。電池カバーをスライドして開きます。



3. 使用済みの電池を取り出し、+極の表示を上に向けて新しい電池を装着します。



4. 電池カバーを静かに閉じます。自動的に留め具がかかります。

警告: 電池はお子様の手が届かないところに保管してください。電池を飲み込まないでください。化学薬品によるやけどを負う恐れがあります。この製品に付属のリモコンにはボタン電池が使用されています。ボタン電池を飲み込むと、体内で2時間以内に深刻なやけどを負って生命を脅かす恐れがあります。バッテリーカバーがきちんと閉まらない場合は、リモコンの使用をやめてお子様の手が届かないところに保管してください。電池を飲み込んだり、身体の中に入ってしまったと思ったら、すぐに医師の診断を受けてください。リモコンの電池を誤って取り扱ったり、誤って交換した場合、破裂や火災、化学物質で皮膚が侵される危険性があります。また、分解や充電、焼却を行ったり100°C以上の熱を与えないようにしてください。3Vリチウムボタン電池のCR2032またはDL2032に交換してください。使用済みの電池は速やかに処分してください。

お手入れについて

- システムの外装は柔らかい布でから拭きしてください。
- システムの近くでスプレーを使用しないでください。溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤を含むクリーニング液は使用しないでください。
- 開口部に液体が入らないようにしてください。

お問い合わせ先

リモコン紛失時の再購入につきましては、ボーズ株式会社カスタマーサービスまでお問い合わせください。トラブル解決のための詳細情報については、ボーズ株式会社カスタマーサービスにお問い合わせください。専用ナビダイヤル 0570-080-021

保証

製品保証の詳細は (<http://bose.co.jp/rep>) をご覧ください。製品の登録をお願いいたします。登録は、<http://global.Bose.com/register> から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

本製品の保証内容は、オーストラリアおよびニュージーランドでは適用されません。オーストラリアおよびニュージーランドでの保証の詳細については、弊社Webサイト (www.bose.com.au/warranty) または www.bose.co.nz/warranty) をご覧ください。

仕様

AC電源定格

100V \sim 50/60Hz 60W (最大)

セットアップに関する重要な情報

- スマートフォンやタブレットではなく、コンピューターからシステムをセットアップすることもできます。
- 付属のUSBケーブルが必要です。
- Wi-Fi®ネットワークに接続しているコンピューターを使用します。
- アプリでUSBケーブルを接続する指示が表示されるまで、ケーブルを接続しないでください。
- 音楽ライブラリが保存されているコンピューターを使用してください。

デスクトップコンピューターを使用してセットアップする

デスクトップコンピューターを使用している場合は、システムをコンピューターの近くに移動してセットアップします。コンピューターとシステムをUSBケーブルで一時的に接続します。その後、システムを使用する場所に移動できます。

コンピューターでシステムをセットアップする

1. システムをpedestalの上に設置します(7ページを参照)。
2. コンピューターでWebブラウザを開いて、次のURLを開きます。

SoundTouch.com/app

ヒント: 音楽ライブラリが保存されているコンピューターを使用してください。

3. SoundTouch™アプリをダウンロードして実行します。
4. システムをホームネットワークに接続します(8ページを参照)。セットアップの手順はアプリに表示されます。

Important setup information

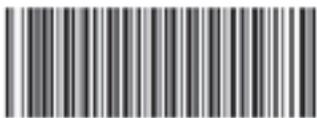
- You can set up the system using a computer rather than a smartphone or tablet.
- You need the provided USB cable.
- Use a computer that is on your Wi-Fi® network.
- Do not connect the USB cable until the app instructs you to connect the cable.
- Use the computer where your music library is stored.

Using a desktop computer for setup

If you are using a desktop computer, move the system near the computer to set it up. You must temporarily connect the USB cable from the computer to the system. Then, you can move the system to its permanent location.

Setting up the system using a computer

1. Place the system on the pedestal (see page 7).
2. On your computer, open a browser and go to **SoundTouch.com/app**
Tip: Use the computer where your music library is stored.
3. Download and run the SoundTouch™ app.
4. Connect the system to your home network (see page 8).
The app guides you through setup.



BOSE[®]
Better sound through research[®]

©2015 Bose Corporation, The Mountain,
Framingham, MA 01701-9168 USA
AM743464 Rev. 00